



ハンガリー政府観光局 ニュース 2010年11月12日 No.196

- NHK BShi プラネット・ベビーズ「ハンガリーわらべ歌の子育て」11月18日 21:30
- BS-TBS 世界夢列車に乗って ハンガリー特集(12/6 から4回)
- 【コラム】ラベンダーの咲く庭で ～遙かなるパンノンハルマ～

NHK BShi プラネット・ベビーズ「ハンガリーわらべ歌の子育て」

11月18日(木)21:30からNHK BShiでプラネット・ベビーズ「ハンガリーわらべ歌の子育て」が放送されます。

この番組は「ひとつの国のある家族のありのままの子育てをつぶさに取材。その子育てを通じて、その国の男と女のあり方、女性の生き方、家族のあり方を見つめます。」(番組HPより転載)のコンセプトのもと多様な家族文化を描き出すドキュメンタリー。

ブダペストの音楽一家の歌にあふれた子育てを紹介し、世界中の幼児教育に多大な影響を与えた圧倒的な歴史に根ざす高度な音楽教育の秘密に迫ります。

BS-TBS 世界夢列車に乗って ハンガリー特集(12/6 から4回)

人気の鉄道紀行番組「BS-TBS 世界夢列車に乗って」はハンガリー取材を終え、12月6日(月)から4回にわたり、ハンガリーを特集し放送します。

放送時刻は毎回20時から。お楽しみに！

- 12月6日：#109 「ハンガリー 華麗なる都 ブダペスト」
- 12月13日：#110 「ハンガリー北西部 宮廷文化の栄え」
- 1月10日：#113 「ハンガリー 水辺のリゾートへ」
- 1月17日：#114 「ハンガリー 王様たちのワインの地」

この番組の番組コンセプト

ゆったりとした時の流れの中に身を置きながら、世界各地を駆け抜ける夢列車の旅。旅の魅力はそれぞれに異なる地で体感する『文化や遺産』『積み重なれた歴史の重み』など尽きることはありません。番組では様々な国での素敵な列車の旅を通じて旅先での感動と出会いを紹介します。



【コラム】ラベンダーの咲く庭で ～遙かなるパンノンハルマ～

飯田 愛紀

ハンガリー世界遺産の一つであるパンノンハルマの説明はいまさら不要だろう。しかしながら、旅行者の多くがブダペストのみの滞在でハンガリーを去ってしまうのもまた事実であり、各地に点在する世界遺産を始め色々な都市へもっと訪れて欲しいと願うのは私だけではない。と言うことで、まず人に勧めるからには自分から。私は真っ先にパンノンハルマ訪問を予定に入れ旅のメインとして据えた。



そびえ立つパンノンハルマ修道院。

しかし——、描いていた青写真通りにはなかなかいかないのが現実というものだ。パンノンハルマ訪問の日は、この旅一番の悪天候に見舞われてしまった。初夏に似つかわしくない冷えた風と、気まぐれなタイミングで大地を強打する雨。残念に思うも、致し方ない。

いざパンノンハルマ駅に降り立ち、「迷ったらどうしよう」などという不安はすぐに解消された。少しばかり歩いていくと、丘の頂上にそびえ立つ修道院の堂々たる姿が見えたからだ。登っていけば、きっと辿り着ける。単純な私は単純に思った。呼応するように降っていた雨が止み、纏っていた雨合羽を畳んで歩くこと小半時間。上り坂の終わりで無事、修道院のゲートと対面できた。が、肝心の修道院見学ツアーの受付はつい今し方通り過ぎてきた場所だったため、5分ほど元来た坂を下る羽目になったのは余談である。英語のツアーは予約が必要だったため、私はハンガリー語のツアーに参加した。言うまでもないが、ハンガリー語はほぼ理解できない。せっかくのガイド、より理解できる言葉を選んだ方が良かっただろうか？ しかし、おそらく私は日本語のツアーがあったとしてもハンガリー語のツアーを選択しただろう。理解したい——、願う心が報われる日は果たしてくるのかどうか。私にも分からない。

修道院の庭には今が盛りのラベンダーが豊かな香りを放っている。あまり知られていないかもしれないが、パンノンハルマはラベンダーの産地でもある。「世界遺産の修道院 with ラベンダー」。これはきっと興味をそそるキャッチに違いない、是が非でも紹介して色々な人に行ってもらわねば！ という使命感に燃えつつ写真を撮ったのだが前記した通り生憎の空模様。ラベンダーも修道院から見下ろすパンノンハルマのパノラマも上手く撮れずに終わったのが心残りである。

手入れの行き届いた庭を横に石畳の回廊をツアー客が連なるようにして歩く。ここは今も修道士と学生が学ぶ空間。広がる凜とした空気にピンと背筋も伸びてくる。静かな院内を一通り見学し、ラストを飾るのはこのツアー最大の見所である図書館見学だ。修道院付属の物としては世界最大規だという。立ち立った瞬間、あまりの荘厳さに息を呑んで圧倒されてしまった。窓から差し込む鈍い光が何とも神秘的で、あたかも聖廟のようだ。まだまだ現役のこの図書館、ハンガリー語最古の公文書も保存しており、時間が許すならば一日中いても飽きないだろう。

さて、修道院の見学も終わり、実はこの後もっとも楽しみにしていたイベントが控えている。そのイベントとは——、パンノンハルマ・ワイナリーでのワインテイastingだ。既にご存じの方も多だろうが、パンノンハルマは修道院付属のワイナリーを持っている。深い歴史を持ちながらも冷戦時代の憂き目を見、空白の時間を経て再出発を果たした伝統のワイン。NHK の“世界遺産への招待状”で取り上げられて認知度も高まり、興味を持たれた方も多いのではないだろうか？ パンノンハルマ修道院のワイナリー、果たしてどういうものなのだろうか……？



パンノンハルマ修道院産、ラベンダー石鹸&オイル。

※パンノンハルマ修道院へのアクセス。

ハンガリー鉄道パンノンハルマ駅下車、徒歩2、30分ほど。



修道院の回廊。



パンノンハルマ古書館。